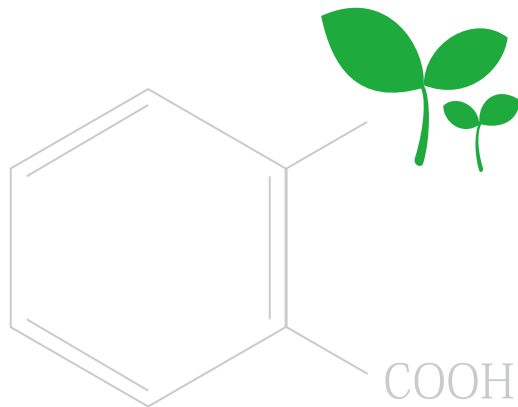
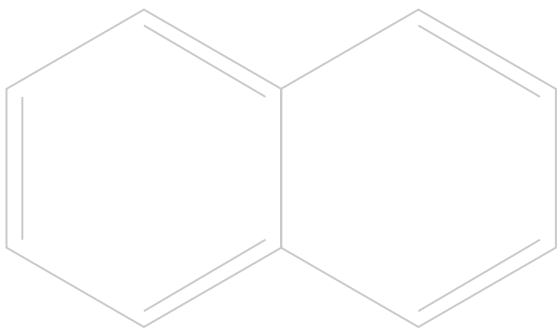


会社案内



会社概要 Coporate profile

商号	英文字 MGC Woodchem Corporatio
本店所在地	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-6-1 菱和ビル8F
代表者	代表取締役社長 田代 靖
資本金	80,000,000円
大株主	三菱ガス化学(株) 100%
事業内容	接着剤・ホルマリン等の製造・販売
主要取引先	(株)ノダ、永大産業(株)、三菱ガス化学(株)、(株)ウッドワン ※敬称略・順不同
主要取引銀行	三菱UFJ銀行
決算期	3月31日

沿革 History

1922年 (大正11年)	4月 豊年製油株式会社設立 鈴木商店製油事業が分離独立し資本金1千万円で設立
1931年 (昭和6年)	3月 大豆グラーの完成 脱脂大豆蛋白の高度化利用技術の開発により完成
1933年 (昭和8年)	10月 グラー発売部を開設 「豊年大豆グラー」発売開始
1950年 (昭和25年)	10月 合成樹脂接着剤工場を清水工場内に設立 尿素樹脂接着剤の発売開始
1954年 (昭和29年)	11月 尿素・メラミン樹脂 UM-3を販売開始
1958年 (昭和33年)	5月 豊ホルマリン工業株式会社(現・株式会社ユタカケミカル)設立 日本瓦斯化学株式会社(現三菱ガス化学株式会社)との折半出資資本金8千万円で設立
1989年 (平成元年)	4月 株式会社ホーネンコーポレーションに社名変更
2004年 (平成16年)	7月 株式会社J-ケミカル発足 資本金9千万円でホーネンコーポレーション化成部品部門が分離独立 (経営統合・合併への経緯ページへ)
2021年 (令和3年)	5月31日、J-オイルミルズより三菱ガス化学へ全株式譲渡 三菱ガス化学株式会社の100%子会社となる
2022年 (令和4年)	4月 株式会社J-ケミカルと株式会社ユタカケミカルが合併 MGCウッドケム株式会社発足

経営理念 Philosophy

当社は「中小企業の機動性と株式上場企業同等の社会責任を具備した会社」です。

今日までユーザーと共に樹脂の使用設備まで開発する総合力と自然環境を守ることにコンセプトにおいて販売した商品は時代をリードしてきました。当社の合成樹脂は住宅関連での用途が多く、歴史に裏付けられた技術をもとに以下の事項を念頭におき、躍進してまいります。

1. 社会の発展と住生活の安全に貢献する。
2. 時代の要求を先取りして、粘り強く商品開発を行う。
3. 地球に優しい化学と高度な技術力を発揮できる集団を作る。



本社 / 東京営業所

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-6-1
菱和ビル8F
Tel 03-6285-2817
Fax 03-6285-2818



大阪営業所

〒550-0002
大阪府大阪市西区江戸堀1-9-1
肥後橋センタービル14F
Tel 06-6441-2414
Fax 06-6441-4511



第1研究室 / 第3研究室

〒424-0823
静岡県静岡市清水区島崎町162
Tel 054-352-9158
Fax 054-352-9146



第2研究室 / 品質保証室

〒254-0016
神奈川県平塚市東八幡5-3-4
Tel 0463-22-1987
Fax 0463-22-1989



平塚工場

〒254-0016
神奈川県平塚市東八幡5-3-4
Tel 0463-22-1987
Fax 0463-22-1989



清水工場

〒424-0823

静岡県静岡市清水区島崎町162

Tel 054-352-9145

Fax 054-353-1306



水島工場

〒712-8071

岡山県倉敷市水島海岸通2-1-34

Tel 086-448-3221

Fax 086-448-3222

製品紹介 Products

◆MGCウッドケムの製品は皆様の身近なところで。

MGCウッドケムの製品は様々な形に姿を変えて、意外に皆様の身近なところで活躍しています。

代表的な製品に合成樹脂接着剤があり、これらは生活必需品から建築資材などに幅広く活用されています。

MGCウッドケムは、間接工程だけを見つめるのではなく、常にエンドユーザー様の豊かな生活シーンを生み出すことをイメージして、日々研究を重ね、製品開発に努めています。

当ページでは提供中の樹脂と主な用途についてご案内させていただきます。

■ホルムアルデヒド系樹脂

商品群		用途
フェノール樹脂	PBシリーズ	パーティクルボード、MDF
	PFシリーズ	合板
	PIシリーズ	フェノールフォーム
	PWシリーズ	無機繊維バインダー
	PSシリーズ	研磨布紙バインダー
	PXシリーズ	含侵
レゾルシノール樹脂	RWシリーズ	集成材、LVL
ユリア・メラミン樹脂	UBシリーズ	パーティクルボード、MDF
	ULシリーズ	合板
	MLシリーズ	合板
	UWシリーズ	木工
	MBシリーズ	パーティクルボード、MDF
	MW・UMシリーズ	木工、合板二次加工
特殊変性ケトン樹脂	HRシリーズ	段ボール貼合用耐水化剤

■その他樹脂

商品群		用途
合成ゴムラテックス	DSシリーズ	合板二次加工
	SWシリーズ	合板二次加工
	TXシリーズ	木工
酢酸ビニル樹脂エマルジョン	VWシリーズ	木工、合板二次加工、包装、紙加工
特殊共重合樹脂エマルジョン	VW-Hシリーズ	合板二次加工、包装、紙加工
	VW-Eシリーズ	塗料、接着剤ベース
アクリル樹脂エマルジョン	AEシリーズ	合板二次加工
	SWシリーズ	合板二次加工
	TPシリーズ	合板全面補修剤
	UCPシリーズ	塗装型枠用塗料
	HTPシリーズ	合板部分補修剤
	FTPシリーズ	防水、はっ水シーラー
	ASシリーズ	HPシリーズ
ホットメルト	HPシリーズ	製函、封函、合板
反応性ホットメルト	HPシリーズ	合板二次加工、紙加工
ウレタン樹脂	CPNシリーズ	塗装型枠用塗料
	IW-300シリーズ	集成材、木工
エポキシ樹脂エマルジョン	ESシリーズ	無機板等水性シーラー
天然樹脂	EP / CW / LYシリーズ	合板、木工
水性高分子イソシアネート系	IWシリーズ	合板、集成材、木工、合板二次加工

■その他製品

商品群		用途
水溶性銀系抗菌剤・抗ウイルス加工剤	AGアルファ®	抗菌加工、抗ウイルス加工
その他	HCシリーズ	アルデヒド捕捉剤

開発方針 Policy

1.社会貢献

より優れた化学品で社会に貢献する、それがMGCウッドケムの使命です。
化学品は私たちの生活を豊かにする、なくてはならないものです。
その反面使い方を誤ると環境負荷や健康被害などの問題も生じます。
私たちは法令順守からさらに一步踏み込んで、より安全で安心できる化学品を提供します。
それが私たちの開発の最優先課題です。

2.市場ニーズを商品に

市場の求めるものを的確にかつ迅速に把握し、商品化します。
私たちは、市場ニーズが商品化の最も重要なキーワードと考えます。
従って、MGCウッドケムの研究室は、同時にお客様の研究室でもあります。
開発のベクトルは常にお客様に向かっています。

3.技術革新

たゆまぬ研究の積み重ねと斬新な発想、それがMGCウッドケムの知的財産です。
1931年、MGCウッドケムの前身である旧豊年製油(株)化成品部門は、日本で始めて大豆蛋白を接着剤として工業利用することに成功しました。
以来、私たちは木材用接着剤のパイオニアとして、常に新しい技術による提案を続けると同時に、新規市場の創造を目指しています。



技術体制 Organization

技術開発部	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-6-1 菱和ビル8F
第1研究室/第3研究室	〒424-0823 静岡県清水区島崎町162
第2研究室	〒254-0016 平塚市東八幡5-3-4
技術開発部 水島分室	〒712-8071 岡山県倉敷市 水島海岸通2-1-34
第2研究室 / 品質保証室	〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5-3-4

MGCウッドケム株式会社(以下「当社」といいます。)は、
以下の方針にしたがって、個人情報の適正な取扱いに努めてまいります。

1.取得する個人情報の利用目的

当社は、個人情報をご提供いただく場合は、個人情報の利用目的の公表またはご本人への通知等により、その利用目的を明らかにいたします。

ご提供いただいた個人情報の利用目的を変更する場合、変更後の利用目的を公表し、またはご本人に通知いたします。また、当社は、あらかじめご本人の同意を得ないで、前項の利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を取り扱いません。

2.第三者提供の制限

当社は、利用目的に必要な範囲内において第三者に情報の取扱いの委託を行う場合または法令に基づき正当に第三者に情報を提供する場合を除き、あらかじめ同意を得ないで、その個人情報を第三者に提供いたしません。

3.個人情報の開示・訂正等

当社の保有個人データに関し、情報の開示、訂正、追加または利用停止の請求があった場合は、当社は、適切にこれに対応いたします。

この請求については、情報を提供された連絡先・ウェブサイトにご連絡ください。

4.関係法令の遵守

当社は、個人情報を取り扱うにあたり、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守します。

5.安全管理措置

当社は、個人情報について安全管理のための適切な措置を講じ、個人情報の漏えい、滅失、き損等および個人情報への不正アクセスを防止します。

6.継続的实施・改善

当社は、個人情報の適正な取扱いを目的とした体制の整備および社内の教育の継続的实施・改善に努めてまいります。

